



中小事業者省エネグリーンリカバリー推進事業

現状分析と課題

現状分析

▶ 青森県のCO₂排出量削減状況

	現状 (2013→2018)	排出割合
全体	▲9.6%	
産業部門	▲6.7%	36.8%
業務その他部門	▲24.4%	14.8%

▶ 新型コロナ禍による経済活動低下からの回復に際し、環境に配慮した経済復興「グリーンリカバリー」が求められている

▶ 省エネ活動が進まない理由

R 1 実施アンケート結果

- ・ 資金不足 (66%)
- ・ 人材・知識の不足 (38%)
- 社会情勢の変化等による影響
- ・ 新型コロナ禍による事業者の経済活動低下及び人的接触の回避
- ・ 省エネ診断の有料化

→ 省エネ活動の優先度が高くない

→ 省エネ診断受診件数の伸び悩み

課題

- ▶ 省エネ活動の優先度を高める仕掛けが不足
- ▶ 省エネ情報提供手法が不足
- ▶ 省エネ診断を促す営業活動力が不足

事業の内容（アウトプット）

【概要】

事業者が省エネ活動の優先度を高めるための仕組みの構築を行うとともに、青森型エネルギーマネジメントシステムの活用による、中小事業者の自発的・継続的な省エネ活動を支援する。

1 省エネ活動の優先度を高める取組

- ・ 省エネ診断と経営診断を同時に進め、環境配慮と経営課題を同時に解決するため、中小企業関係機関、金融機関との連携、勉強会、啓発ツール作成を実施
- ・ 経営層の環境経営に対するセミナーを開催
- ・ ナッジによる省エネ活動の優先度向上手法を構築 (R3)

2 省エネ実践を支援する取組

(1) 伴走型エネマネ活用サポート

- ・ 省エネ診断からエネマネシステムの活用による省エネ対策の実施までの一貫したサポートを実施 (省エネ診断10件程度、うち5件程度サポート)
- ・ 省エネ診断の受診事業者数を増やすため、中小事業者に詳しいコンサル等と連携した訪問活動の展開 (R4)

(2) 省エネ・補助金等情報提供

- ・ 国の補助金等の省エネ情報の提供及びエネマネシステムを解説する説明会を実施
- ・ 2-(1)の事業における省エネの取組を動画で配信

事業の目指す姿

事業のアウトカム

- ▶ 省エネ活動が進まない理由の改善
 - ・ 資金不足 (現状より減)
 - ・ 人材・知識の不足 (現状より減)
- ▶ 省エネ診断の受診件数 R3~R5 30件以上

最終アウトカム

- ▶ 産業・業務その他部門におけるCO₂排出量削減「グリーンリカバリー」による経済復興
- ↓
- ▶ 経済と環境の好循環による2050年脱炭素社会実現に向けた県内中小事業者の取組が加速

【関連KPI等】

青森県のCO₂排出削減目標

	目標 (2013→2030)
全体	▲31.0%
産業部門	▲16.0%
業務その他部門	▲38.7%